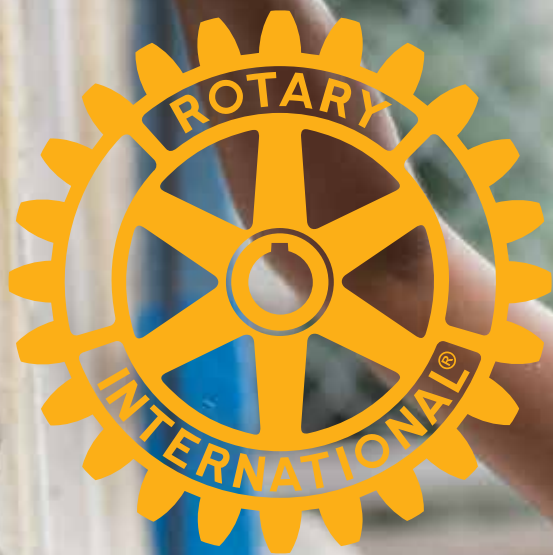


国際ロータリーおよびロータリー財団
2013-14年度年次報告



A man in a black polo shirt with a Rotary logo is standing and clapping. He is smiling and looking towards a group of people seated at wooden desks. The room has light blue walls and a wooden ceiling. A woman in a purple top is seated at a desk in the background, looking towards the man. In the foreground, the backs of several people's heads are visible, including one wearing a colorful headscarf. The overall atmosphere is positive and engaged.

国際ロータリーおよびロータリー財団
2013-14年度年次報告



ロータリーの会員数と分布



ロータリー会員の数
1,207,102



ロータリー地区の数
537

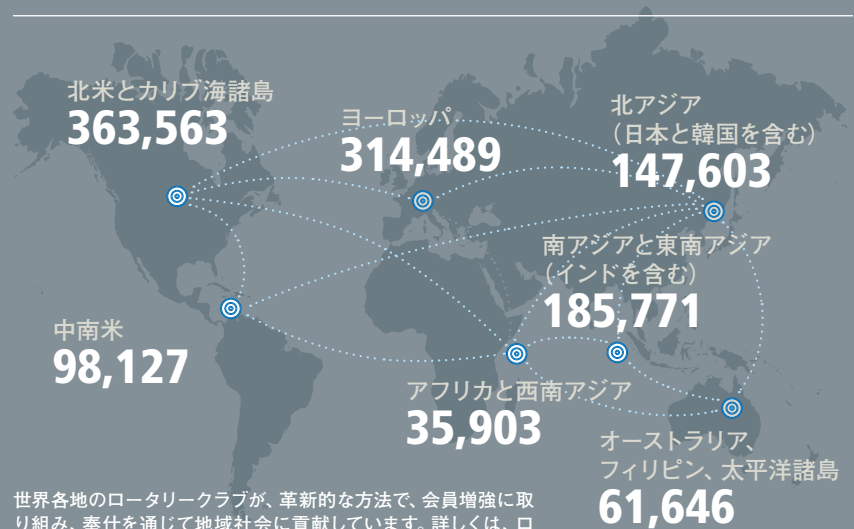


ロータリークラブの数
34,823



ロータリー
地域社会共同隊の数
8,028

地域別会員数



世界各地のロータリークラブが、革新的な方法で、会員増強に取り組み、奉仕を通じて地域社会に貢献しています。詳しくは、ロータリーのウェブサイト (www.rotary.org/ja) をご覧ください。

6つの重点分野における活動を支援する ロータリーの新補助金モデルが初年度を終了

地区補助金 488口

2,350 万米ドル

グローバル補助金 868口

4,730 万米ドル

パーケージ・グラント 18口

50 万米ドル



疾病予防と治療

補助金数: 265口 **1,420** 万米ドル



水と衛生

198口 **1,120** 万米ドル



経済と地域社会の発展

148口 **780** 万米ドル



基本的教育と識字率向上

121口 **650** 万米ドル



母子の健康

69口 **510** 万米ドル



平和と紛争予防／紛争解決
(ロータリー平和センターを除く)

67口 **250** 万米ドル

国際ロータリーのプロジェクトにおいて、ホンジュラスのサンタカタリナの女性たちを対象に、起業支援のための小口ローンに関する研修を行うロータリー会員たち。小口ローンはアデランテ財団が提供しました。

留意点: 各重点分野の総額はグローバル補助金のみ



より多くの人々に
末永い影響をもたらすために

会長と管理委員長からのメッセージ

ロータリーでは、それぞれの会員が個別にどれだけ達成するかではなく、会員が一緒にどれだけ成し遂げるかを重視します。そこで私たちは2013-14年度、地域社会が現在直面している課題に取り組むと同時に、ロータリーが将来、さらに奉仕の力を伸ばし、会員を増やし、クラブを活気づけ、ロータリー財団を強化することに力を入れました。

本ロータリー年度に最も力を注いだのは、会員増強でした。ロータリアンがそれぞれの地域に適した方法でクラブや地区を発展させるための「地域別会員増強計画」の実施を開始しました。ロータリーファミリーの若者たちのために、ロータリーが活動しているいくつかの国々で、若者たち自身を中心となって、一連の新世代コンファレンスを開催しました。そこで活躍した、優秀で熱意にあふれた若者たちの姿は、ロータリーに若い会員を迎え入れ、クラブの活気を維持し、将来、優秀なリーダーとなる人材を確保することの重要性を再認識させるものとなりました。

本年度はまた、財団への寄付においても、大きな一年となりました。世界経済の不調にもかかわらず、本年度の年次基金への寄付は、1億1,660万米ドルという記録的な額となり、世界の全会員に財団寄付をお願いするという目標にも、これまでに近く近づくことができました。

ポリオ撲滅キャンペーン「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」も、初年度に大きな成功を収めました。2018年まで毎年、ロータリーからのポリオ撲滅寄付、3,500万米ドルまでに対して、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額の上乗せを提供しますが、初年度にはこれを最大限に生かし、1億500万米ドルの新たなポリオ撲滅資金を確保することができました。これにより、世界でのポリオ撲滅最終戦略計画と、2018年までのポリオ撲滅という目標達成に欠かせない資金を提供できます。

ポール・ハリスが109年前にロータリーを創設して以来、会員同士のつながりによってロータリーが成り立っていることは、変わりません。友情、新たな経験、奉仕することの喜び。これらは、どれをとっても、会員が努力すればするほど、自分自身も報われるものです。この年次報告書には、世界中の会員が本年度、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生」をもたらした様子が紹介されています。



国際ロータリー
2013-14年度会長
ロン D. バートン



ロータリー財団
2013-14年度管理委員長
李 東建

A close-up photograph of a man with glasses, wearing a blue shirt and a yellow tie, administering a vaccine to a young child. The man is looking down at the child with a focused expression. The child, a young girl with dark hair, is looking up at the man with her mouth open, ready to receive the vaccine. The background is slightly blurred, showing other people in a community setting.

「インド（におけるポリオ撲滅）は、国家政府から村々の自治体、世界中のポリオ撲滅協力団体に至るまで、尋常でない努力を必要とする、歴史的な偉業でした。10万人を超えるロータリアンの後押しとともに、私たちは全国予防接種日やその後の追加接種活動に最大限の支援を提供しました」

— インド・ポリオプラス委員長
ディーパク・カプール

ポリオのない 世界を目指して

突発的感染の鎮静化から、歴史的な節目の実現まで、ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）が大きな前進を遂げることを可能にしてきました。ロータリーは、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とともに、GPEIで指導的な役割を担っています。

ロータリー会員は、子どもたちに実際に経口ワクチンを投与するだけでなく、子供に予防接種を受けさせることに反対する地域社会のリーダーを説得する上でも貢献してきました。また、政府や企業に対する撲滅支援の働きかけは、ロータリー会員からの惜しみない寄付と相まって、2018年までに全世界でのポリオ撲滅認定を目標とする、ポリオ撲滅最終戦略計画を推し進める力となってきました。

東南アジアで「ポリオフリー」の認定

この3月、WHOの区分による「東南アジア地域」(11カ国)がポリオフリー(ポリオのない地域)と認定されました。世界人口の25パーセントが住むこの地域には、わずか5年前に世界のポリオ症例のほぼ半分が報告されていたインドが含まれています。

(左のページ) インドのウッタルプラデシュ州にあるモラダバードで、子供に予防接種をするロータリー会員

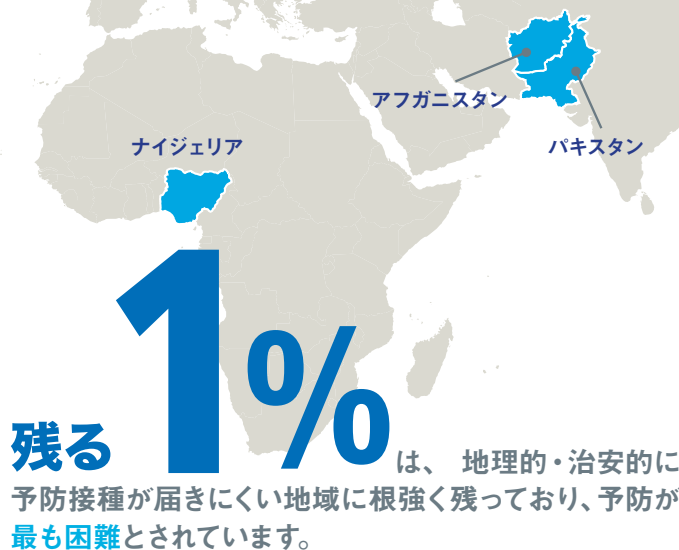
ナイジェリアでポリオ撲滅が間近に

ロータリーをはじめとするGPEIパートナー団体の努力により、ナイジェリアでのポリオ感染件数は、6月30日現在、前年度同期から90パーセント減少しています。ナイジェリア・ポリオプラス委員会は、検診、ポリオやその他の病気に対する予防接種、薬剤を無料で提供する保健キャンプを支援しました。

(下の写真) ナイジェリアのカノで、全国予防接種日の活動を見守るロータリーの現地コーディネーター

ポリオ常在国は3カ国を残すのみ

1988年に世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)が立ち上げられて以来、新たな感染件数は、当時の年間35万件から、2013年の年間約400件にまで大きく減少しました。



「子供たちが一人残らず予防接種を受けられるよう、ロータリアンは、車、カヌー、オートバイ、そして時には徒歩で辺境地域に赴きました」

— ナイジェリア・ポリオプラス委員長
ツンジ・フンショ

撲滅支援アドボカシーの旗手として

世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）におけるロータリーの主な役割の一つは、アドボカシー活動（政府・自治体や企業に対する撲滅支援の働きかけ）です。ロータリーは、1988年のGPEI開始以来、13億米ドルを寄付したことに加え、各国政府から100億米ドルの寄付を確保しています。以下は、その主な経緯です。

2014年6月 シドニーで開かれたロータリー国際大会で、オーストラリアのトニー・アボット首相が、これまで野生ポリオウイルス感染を阻止できていないアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンや、突発的な感染例が見られた北アフリカと中東における撲滅活動を後押しするため、同政府が5年間に1億豪ドルを寄付すると発表しました。アボット首相はその際、「本当に称賛に値するのはオーストラリア政府ではなく、実際に撲滅に取り組んでいるロータリーです」と述べました。

世界171カ国から10万人を超える人びとが、インターネットで展開された「世界最大のCM」に参加しました。このキャンペーンは、写真を活用した最大規模の認識向上キャンペーンとして、ギネスブックに認定されました。

5月 カナダの第5360地区（アルバータ州とサスカチュワン州の各一部）と第5370地区（アルバータ州、ブリティッシュコロンビア州、ノースウェスト準州、サスカチュワン州の各一部）が、アルバータ州政府と共同で募金キャンペーンを実施し、35万カナダドルの寄付を集めました。これに対し、アルバータ州政府が同額の上乗せをすることで、合計70万カナダドルの資金が集まりました。

1月 バラク・オバマ米大統領は、米国疾病対策センター（CDC）と米国国際開発庁（USAID）を通じて、2014年度に、2億5百万米ドルをポリオ撲滅に投じる一括法案に署名しました。米国におけるロータリーのポリオ撲滅タスクフォースが中心となり、政府やその他の支援団体にGPEI支援の重要性とメリットについて訴えています。

2013年11月 ロータリーは、サンパウロで開催されたポリオ撲滅戦略シンポジウムにおいて、ブラジル政府、汎米保健機構（PAHO）とともに、「Declaration of Commitment and Collaboration Toward the Goal of a Polio-Free World」（ポリオのない世界を目指す誓約・協力宣言）に署名しました。

10月 「世界ポリオデー：歴史に1ページを刻もう」と題されたイベントがシカゴで開かれ、会場に集まった参加者やインターネット生中継の視聴者に対して、GPEIのそれまでの進展が紹介されました。ロータリーとノースウェスタン大学が共催したこのイベントに先立ち、企業、財団、教育機関、政府機関の代表者を招いたレセプションが開かれました。



世界ポリオデーのイベントで、カナダのロータリー会員、ジェニファー・ジョーンズさんとともに、世界ポリオ撲滅活動への参加を訴える、エミー賞女優アーチャー・パンジャビさん。パンジャビさんは、ロータリーのポリオ撲滅大使です。

ポリオとの闘いを支える

以下の方々をはじめ、多くの支援者がポリオ撲滅の活動資金を支えてくださいました。

ラジャシュリー・ビルラさん インドの慈善家・実業家であるビルラさんは、ロータリーのポリオ撲滅活動のために100万米ドルを寄付しました。また、息子のクマール・マンガラムさんは、Aditya Birla Groupをフォーチュン誌によって世界のトップ500の企業に数えられるまでに成長させました。ボンベイ・ロータリークラブとムルンド・ロータリークラブの名誉会員であるビルラさんは、ポリオプラス基金に対して、これまで720万米ドルを超える寄付を行っています。

エメカ・オフォーさん ナイジェリアのビジネスリーダーで、慈善家であるエメカ・オフォーさんは、シドニーでのロータリー国際大会で、ポリオ撲滅の資金として、ロータリーに100万ドルの寄付を行うと発表しました。エメカさんは、原油やガスの総合企業、Chrome Groupの取締役副社長を務め、アウカG.R.A.ロータリークラブの会員です。ナイジェリアにおけるロータリーのポリオ撲滅大使も務めており、これまでにポリオプラス基金に対して、225万米ドルを寄付しました。

テリー・キャスターさんとバーバラ夫人 ポリオプラス基金に110万米ドルを寄付したテリー・キャスターさんは、A-1 Self Storage社の創設者で、米国カリフォルニア州にあるラメサ・ロータリークラブの会員です。

ドイツ各地で開かれた自転車ラリーで、ロータリー会員が100万米ドルを超える募金を集めました。

米国アリゾナ州で開かれた自転車レースEl Tour de Tucsonに参加したロータリー会員と支援者が、73万米ドル以上の募金を集めました。このレースに参加した70人のロータリー関係者のなかには、ジョン・ヒューコ事務総長の姿もありました。

「World's Greatest Meal to Help End Polio」（ポリオ撲滅支援食事会）には、30カ国で1万人以上のロータリー会員が参加し、21万米ドル以上の募金を集めました。

突発的なポリオ発生への対応

世界保健機関（WHO）は、ポリオ撲滅におけるこれまでの成果を維持し、ウイルスの拡大を食い止めるため、去る5月、ポリオを「公衆衛生上の国際的緊急事態」と宣言しました。アフリカの北東部にある「アフリカの角」地域と、中東での突発的発生を鎮静化するため、ロータリーは、この事態に関する広報に取り組みました。さらに、ソマリアに対する50万ドルの緊急補助金と、中東におけるWHOの活動費用に充てるための50万ドルの補助金を含む、緊急資金を提供しました。

「アフリカの角」での感染は収まりましたが、辺境地域の子どもたちがワクチン投与を受けるまで、野生ポリオウイルス拡大による危険は依然として残っています。

2014年前半にシリアで報告されたポリオの症例は、1件のみでした。

（右）レバノンで子供にワクチンを投与するロータリアン、マイケル・ジャザーさん

「5歳の男の子が、怖がって聞いてきました。『注射するの?』 私がワクチンの瓶を見せると、男の子はにっこりと笑い、安心した顔で大きく口を開けました。ワクチンを口の中に2滴たらずと、男の子はそれを飲み込み、私を見て『ありがとう』と言ったんです」

— 国際ロータリーの国連代表で
レバノンのケスルアン・ロータリークラブ会員
マイケル・ジャザー



写真提供：MICHEL JAZZAR

「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」 撲滅キャンペーン

2013～2018年、ロータリーが世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）のために集めた資金（年間3,500万ドルまで）に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額の上乗せをします。これが最大限に活用された場合、5年間で合計5億2,500万ドルの資金をポリオ撲滅に寄付できることとなります。



皆さまからのご寄付が3倍に膨らみます。ご支援をお願いいたします：www.rotary.org/ja/give

地域住民の信頼を築いて、ポリオ撲滅に取り組む

パキスタンのロータリー会員は、ポリオ感染リスクが高い地域で予防接種への信頼を勝ち取るために、8カ所のポリオリソースセンターを設置しました。このセンターは、各ロータリークラブと協力し、ポリオ、はしかなどの予防接種を行う保健キャンプを実施しているほか、さまざまな保健サービスを無償で提供しています。また、ポリオ撲滅活動を推進する「声」となって、学校での認識向上と予防接種に力を入れています。さらに、著名なイスラム法学者と協力して特別委員会（Pakistan Ulema PolioPlus Committee）を設け、国内でのポリオ撲滅活動の推進に力を注いでいます。

（右の写真）予防接種のために、ロータリーが支援しているポリオリソースセンター職員の周りに集まる子どもたち。パキスタンの村、バルーチスタンにて。



写真提供：ASHER ALI

疾病と闘う

ネパールで室内空気汚染に取り組んで、健康状態を改善

WHOの調査によると、世界で死亡する人の8人に一人が大気汚染が原因で亡くなっており、大気汚染は、ほかのどの環境要因よりも大きな健康上のリスクとなっています。家庭排気による大気汚染だけでも、毎年430万人の命が奪われています。

「世界中で30億人以上の人びとが、薪や木材、動物の糞、農産廃棄物などをたき火やストーブで燃やして、調理をしています」と語るのは、米国ニューメキシコ州、タオスミラグロ・ロータリークラブの会員、エール・ジョーンズさん。これはやけどや呼吸器疾患の原因となっているだけでなく、「伐採や炭酸ガス放出により環境が破壊される原因ともなっています」

この問題が深刻化しているネパールで、米国タオスミラグロ・ロータリークラブの会員が、数カ国のクラブと協力し、「ヒマラヤン・ストーブ・プロジェクト」を支援しています。ロータリー会員、ジョージ・バッシュさんが立ち上げたこのプロジェク

トでは、ロータリーやそのほかのスポンサー団体の支援を受け、燃焼効率の良い、屋外排気管付のストーブが3,000台設置されました。

(右のページ) ネパールで設置された、屋外排気管付のストーブ

麻薬戦争を乗り越えたメキシコの無料診療所

メキシコのチワワ州にあるGuerreroクリニックは、1980年以来、地域の麻薬組織の抗争や経済難を乗り越えて、貧しい人びとを助けてきました。州内の貧困層の60%に対して医療を提供していることで、州知事からも感謝されています。

米国テキサス州南東部とメキシコ北部のロータリークラブが、ボランティア、寄付、ロータリー補助金を通じて、この診療所での患者のケアを支援しています。毎年6回、1週間に1,000人を対象に白内障や口蓋裂の手術、がん検診、子宮頸がん検査を無料で提供し、中には2,000キロ近く離れた町から訪れる患者もいます。

(下の写真) 無料診療所で眼科検診を受ける女性



「目の見えなかった人が視力を回復したり、口蓋裂の苦しみから解放された人びとを実際に見れば、無料診療所がいかに貴重な存在かが分かります」

— メキシコ、チワワ州、トレオン・ロータリークラブ会員
セルソ・レイエス

写真提供: THE GUERRERO CLINIC

「このプロジェクトが2010年に始まって以来、室内空気の汚染を90%、燃料の使用量を75%削っただけでなく、以前より短時間で調理ができるようになりました」

— 米国ニューメキシコ州
タオスミラグロ・ロータリークラブ会員
エール・ジョーンズ



ロータリー補助金の詳細と「疾病予防と治療」にかかわる活動を支援する方法は、
ロータリーのウェブサイト (www.rotary.org/ja) をご覧ください。



きれいな水を提供する

「この取り組みによって、ブランギの人びとは、代々続いてきた貧困から抜け出すことができます」

— 水と衛生のロータリアン行動グループ

ケニアで給水設備の整備が 地域の経済発展に貢献

ケニアのマリンディ・ロータリークラブは、米国の第7630地区（メリーランド州）、第5400地区（アイダホ州）、米国のほかの4つのクラブ、保健支援団体「Genesis World Mission」と協力し、ケニアのブランギに雨水の貯水設備を提供。ロータリーのグローバル補助金によるこのプロジェクトによって、地域の住民がきれいな水を飲めるようになっただけでなく、農地の灌漑や魚の養殖が可能になりました。作物の生産高は大幅に増え、地域の人びとの健康状態も向上しました。さらには、排水溝ができたことで、洪水によって農家が市場へ行く道を阻まれることもなくなり、以前よりたくさんの作物を売れるようになって、農家の収入も増えました。

（左のページ）排水溝の建設する前のケニアと米国のロータリー会員

地域の水と衛生問題に取り組む ウガンダの新クラブ

3年間にわたる経済成長にもかかわらず、ウガンダの町エン

テベの人びとは、貧困、不十分な医療施設、不安定な水資源に苦しんでいます。そんな中で、マイケル・ムリーティさんは、エンテベで最も人口の多い地域の一つであるンクンバが抱える問題に取り組むため、エンテベ・ロータリークラブの友人たちと新クラブを結成しました。

会員数40名、会員の平均年齢が35歳のンクンバ・ロータリークラブは、地元の保健センターのトイレが劣悪な状態のために閉鎖になった後、2,000米ドルを集めて新しいトイレを建設しました。さらに、そこにあった井戸も改善し、その結果、汲める水の量が以前より40%増えました。年度末までに、さらに4つの井戸を掘る予定です。

革新的な方法で会員増強と社会奉仕に取り組むロータリークラブの活動を、ロータリーのウェブサイト（www.rotary.org/ja）をご覧ください。

（下）井戸の修理に取り組むウガンダのロータリー会員



「地域社会に真に役立つことをやってこそ成功といえます。やる気のある人が集まるクラブ。これがロータリーです」

— ウガンダ、ンクンバ・ロータリークラブ会長
マイケル・ムリーティ

写真提供：MICHAEL MURIITHI

ロータリー補助金の詳細と、「水と衛生」にかかわる活動を支援する方法は、
ロータリーのウェブサイト（www.rotary.org/ja）をご覧ください。

母と子を守る

「大勢の母親と新生児が人道的支援と医療を受け、多くの未熟児に生きるチャンスが与えられるようになりました」

— 第1950地区パストガバナー（ドイツ）
カースティン・イエスカ・トルヴァルト

写真提供：KERSTIN JESKA-THORWART

ロータリーの協力団体

ロータリーは、草の根の団体や国際組織、教育機関などと協力して、世界中で人道的支援活動を行っています。詳しくは、www.rotary.orgをご覧ください。

ポリオ撲滅のパートナー

国際ロータリーは世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）の主要パートナーです。GPEIのほかのパートナーは以下の通りです。

- 世界保健機関（WHO）
- ユニセフ
- 米国疾病対策センター（CDC）
- ビル&メリンダ・ゲイツ財団
- ドナー国政府

国連

国際ロータリーは、国連に代表者を派遣し、国連やグローバル組織との連携を図っています。

戦略パートナー

ロータリアンがより幅広い奉仕活動を行えるよう、ロータリーは以下の組織と戦略的パートナーシップを結んでいます。

- アガ・カーン大学
- ユネスコ水教育研究所（UNESCO-IHE）

プロジェクトのパートナー

ロータリーは、災害救援活動においてシェルターボックスとパートナーシップを結んでいます。



写真提供：ANNET KING'WA

ハイレベルのケアを維持：スリランカ

2004年の津波で多くの病院、学校、施設が破壊されたスリランカ。その建て直しには、かなりの年数がかかります。しかし、粘り強い活動によって長期的な変化がもたらせると、ロータリアンは知っています。

同国ガールにある産科病院の再建のため、ドイツのロータリアンとヘルムート・コール財団が協力して資金を提供しました。さらに、病院が完成した2012年、コロomboと第1950地区（ドイツ）のロータリアンが、ロータリーの補助金450,000ドルを活用して医療機器を寄贈。以来、14万人以上の赤

ちゃんと200万人以上の母親たちがここで治療を受けています。

（左ページ）ロータリーから医療機器の寄贈を受けたマハモダン産科病院（スリランカ）に通う母と子。

東アフリカで保健従事者を教育

東アフリカでは母親と乳幼児の死亡率が高く、これは主に、適切な医療の不足、エイズ、貧困が原因であるとされています。このような状況を受け、ロータリー財団とアガ・カーン大学が提携して、ナイロビ（ケニア）、ダルエスサラーム（タンザニア）、カンパラ（ウガンダ）にある同大学キャンパスで看護学と助産術を学ぶ学生のために奨学金を提供しました。

この奨学金の第一期生24人が、2年間のプログラムを終えて2月に卒業。全員が、正看護師としての資格または看護学の学士号を取得しました。これらの学生たちはロータリークラブの例会や奉仕活動にも参加し、それぞれの学業の課題について話したり、地域社会でリーダーシップを執る方法を学びました。

（左上の写真）ナイロビにあるクリニックでの医療キャンプで子どもを診察するアネット・キンワさん（一番右）。このような実地研修はアガ・カーン大学でのロータリー奨学金の必須条件となっています。

「ケニアの人里離れた村では、出産に看護師や助産師が立ち会うかどうかが生死の分かれ目となります。しっかりとした研修を受けた看護師を育てることで、母親や子どもたちに最善の医療を提供できます」

— ムタイガ・ロータリークラブ（ケニア）会員
ジータ・マネーク

ロータリーの補助金と、母子を守るロータリーの活動については、www.rotary.orgをご覧ください。

奉仕のパートナー

以下の組織は、各地元地域のクラブやロータリーのプロジェクトに協力しています。

- ・ ドリーウッド財団のイマジネーションライブラリ
- ・ グローバル食糧バンク・ネットワーク
- ・ 国際読書協会
- ・ 平和部隊（1年の試験期間にフィリピン、タイ、トーゴでの開発とボランティア活動においてロータリーと協力）
- ・ YSA（青少年による奉仕を促進する団体）

政府パートナー

RIとUSAID（米国国際開発庁）は、「RIとUSAIDによる国際H2O協力」を通じて水と衛生分野のプロジェクトに取り組んでいます。

ロータリー平和センター

ロータリー財団は、世界各地の有名大学と提携し、平和と紛争解決の分野の修士号または専門能力開発修了証を取得するためのフェローシップ（奨学金）を提供しています。

- ・ チュラロンコン大学（タイ、専門能力開発センター）
- ・ デューク大学とノースカロライナ大学（米国ノースカロライナ州）
- ・ 国際基督教大学（日本）
- ・ ブラッドフォード大学（英国）
- ・ クイーンズランド大学（オーストラリア）
- ・ ウプサラ大学（スウェーデン）

教育の支援

「このプロジェクトの担い手となるのは、究極的には、私でも、ロータリーでもありません。本当の担い手となるのは、より良い未来を築くために力をつけた地域社会の人びとです。私たちは、それを応援するだけなのです」

— ロータリー奨学生
ケルシー・コックス

テクノロジーで世界を学ぶフィジーの学生たち

ロータリーの補助金による支援の下、フィジーのタベウニアランド・ロータリークラブとニュージーランドのニューマーケット・ロータリークラブが協同で始めた「Eラーニングプロジェクト」。このプロジェクトでは、オークランド工科大学の協力も得て、フィジーの2つの学校に70機のタブレット型パソコンを寄贈しました。

オークランド大学に留学していたロータリー奨学生、ケルシー・コックスさんが、学生たちにタブレット型パソコンを配り、使い方を指導しました。学生たちはこれを使って、科学や数学を勉強したり、写真やビデオを撮影することもできます。

南太平洋地域の学校にテクノロジーを導入するプロジェクト、「デジタル学習室」のプログラムコーディネーターを務めるコックスさんは、次のように話します。「学校の図書室に本を寄贈するという方法もあったけれど、タブレット型パソコンな

ら小さくで場所も取らず、教室から遠く離れた世界についての情報がいっぱい詰まっています」

(写真左) 新しいタブレット型パソコンを使うフィジーの学生たち。

読書の楽しみをブラジルの子供たちに

ブラジル、サンパウロのある地域では、過去4年間に識字率が55%から50%に減少。これを知った地元ロータリアンたちが立ち上がり、地域の12クラブが合同で、プロジェクト「READ」を開始しました。地元の複数の病院に13の読書室を設けたほか、貧しい人びとが住む地域に集会場や公共施設を建設しました。

プロジェクトではさらに、5～12歳の子どもに読書を楽しんでもらおうと、ロータリーの地区補助金を利用して図書と玩具を寄贈しました。各読書室に一人の監視員がつき、生徒たちへの勉強の指導も行っています。

(下の写真) ロータリーが支援するサンパウロの読書室で低所得家庭の子どもたちに勉強を教えるロータリアン、マルコス・フランコさん。



「子どもたちの読書のための投資は、彼らとその
家族の未来を大きく変えると信じています」

— 第4420地区バスターガバナー
マルコス・フランコ

写真提供：MARCOS FRANCO

ロータリーの補助金、基本的教育と識字率向上を目指すロータリーの活動については、
www.rotary.orgをご覧ください。

地域経済の発展をめざす

ホンジュラスの女性たちの起業を支援

ホンジュラスのLenca Corridorでは、アデランテ財団が、女性たちが貧困から抜け出すための起業を支援しています。

アデランテ財団は、リアル・デ・ミナス・テグシガルパ・ロータリークラブ（ホンジュラス）とボーウェイスクリップス・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州）がグローバル補助金プロジェクトで協力しているパートナーです。個人向けローンの代わりに、グループ向けの無担保ローンを融資している同財団は、ロータリーからの支援の下、利用者たちのために600口の追加ローンとビジネス研修を提供しました。



写真提供：WILLEM VAN IMMERZEEL

「アデランテ財団とロータリーには本当にお世話になった」と話すのは、屋台で野菜を販売するマリア・ニンファ・ロペス・バスケスさんです。「ローンのおかげで、ビジネスを広げるための仕入れや物資の購入ができるようになりました」

（右ページ、上から半時計回り）トルティーヤを売るコンビニエンスストアを営むヒジニア・レイエさん。レミジア・ドミンゲスさんが指導する機織の協同組合は12人の女性を雇用しています。マルタ・ロペスさんは、毎日100以上のパンを焼いています。ローサ・ディリア・フロレスさんが始めた靴修理のビジネスは順調に成長しています。

貧困から抜け出すためのスキルを

インカ・クスコ・ロータリークラブによる「母なる地球のフィエスタ」プロジェクトは、クスコの貧困地域に住む人びとの生活を改善しています。

同クラブと地元自治体が、周辺の13の村の先住民たちに農業、森林業、健康な生活習慣などについて教え、貧困と環境問題に取り組んでいます。

このプロジェクトでは、すでにプロジェクトの恩恵を受けて生活改善に成功した家族に、ほかの家族の模範となってもらいます。また、成功した農家たちは、スキルやノウハウをほかの農家に教えます。

これらの農家は、食生活の改善、地元の保健サービスへの訪問、アルパカ、ギニーピッグ、鱒（ます）の飼育による収入増によって、生活が前よりも豊かになりました。また、100万本以上の木を植えて、森林破壊と土壌浸食を防いでいます。

（左）ペルー、クスコの住民たち。穀物や家畜を効果的に育てる方法を学んだことで、収入が以前よりも増えました。

「ロータリークラブが教えてくれた方法を使って、ペルーの貧困地域に住む4万以上の人びとの生活をより良くすることができました」

— プログラム創設者
インカ・クスコ・ロータリークラブ（ペルー）会員
ウィレム・バン・イマーゼール

ロータリーの補助金と、地域社会の経済発展を支えるロータリーの活動については、www.rotary.orgをご覧ください。

「ロータリークラブが投資した資金は、返済された後また再利用され、地域社会とそこに住む女性たちの明るい未来を築いています」

— ポーウェイ・スクリップス・ロータリークラブ
(米国カリフォルニア州) 会員
ウィン・コックス



平和の推進

「この仕事に就くのが夢でした。私は今、紛争に真正面から取り組むことのできる立場にあります」

— 米国外交安全局エージェント
元ロータリー平和フェロー
ジャスティン・ピール

グローバルな外交を守るロータリー平和フェロー

米国外交安全局に勤めるジャスティン・ピールさんは、紛争が激化する今日の世界で平和のために働いています。元ロータリー平和フェローであるピールさんは、マリ政府と反乱軍との間で紛争があった2013年、同国のアメリカ大使館に勤務していました。

ある日、抗議学生と警察が衝突し、大使館職員1名とマリ人の同僚4名がバマコにある国立保健研究所から一歩も出られない事態に。これを知ったピールさんと運転手は、すぐさま装甲車に飛び乗り、混乱の中をかいぐって研究所に向かいました。

「煙や催涙ガスが上がるのが遠くに見えた」とピールさん。「同僚たちを見つけ、急いで車に乗せて何とか脱出し、無事に大使館に戻ることができました」

このピールさんの勇気ととっさの判断力が称えられ、米国防務省から名誉賞が授与されました。

ジョン・ケリー米国防務長官の護衛任務で飛行機から降りたジャスティン・ピールさん。

都市部の暴力をなくすために

英国マンチェスターの暴力的な路上犯罪を防ぐため、エリンマ・ベルさんが「銃恩赦」プログラム（不法に所有する銃を捨てれば罪に問わないプログラム）を始めようとしたとき、英国内務省は、銃所有者の氏名を提出するよう強く求めました。しかし、「大切なのは銃を街からなくすこと」と内務省を説得し、警察署の前で大きなゴミ箱を使って銃の回収を始めました。

「ベッドの下に銃を隠し持っている子や孫がいる人たちと話しました。彼らは、家族への愛情から、警察へ通報することはありませんでした」と話すベルさんは、元ロータリー平和フェローです。現在は、CARISMA（南マンチェスター地域再生のためのコミュニティ同盟）の共同創設者・責任者として活動しています。

CARISMAは、平和と紛争解決に関するワークショップとプロジェクトを通じて、若者たちが銃やギャング犯罪に走るのを防ぎながら、地域社会の問題に対する草の根レベルの取り組みを目指して、認識向上と社会資本の創出に貢献しています。また、平和に関する資料の作成、PeaceFMラジオ局の設立、平和週間の実施、若者と警察の対話促進なども行っています。他団体との協力の下、CARISMAは、過去4年間でマンチェスターでの銃犯罪を90%以上減らすのに貢献しました。

CARISMAはまた、ベルさんのリーダーシップの下、オーストラリア、パキスタン、米国をはじめとする海外の警察やコミュニティグループへの情報やアドバイスも提供しています。

（右の写真）CARISMAの共同創設者・責任者、エリンマ・ベルさん。

「人びとを擁護するとは、彼らについて話すことではなく、彼ら自身の声を届かせるための機会を与えてあげることです」

— CARISMA共同創設者・CEO
元ロータリー平和フェロー
エリンマ・ベル

平和部隊とロータリーが画期的な協力を開始

ロータリーと平和部隊は、フィリピン、タイ、トーゴでグローバルな開発とボランティア奉仕を推進するための1年間の試験的プログラムで協力することに同意しました。この同意の下、ロータリークラブと平和部隊のボランティアがリソースと知識を共有し、上記3カ国での開発プロジェクトでより高い成果を収めることが奨励されています。

両組織は、地域社会プロジェクト、研修、ネットワーキング、地域住民への教育などで協力できます。この提携を通じて、ロータリークラブは、小額の補助金を提供してボランティアや地域社会を支援できます。この試験的プログラムで好ましい結果が見られたことから、この協力をほかの国にも広げることに関心があります。

平和の願いはきっとかなう：ご支援をお寄せください

ロータリー平和センターでは、平和研究や紛争解決に関連する分野の修士号または専門能力開発修了証を取得する機会を、未来を担う人材や地域社会のリーダーに提供しています。ロータリー平和センターの活動を支援するための冠名の機会もあります。



写真提供：PAUL KEEBLE

ロータリー平和センターとその支援方法については、www.rotary.orgをご覧ください。

若者に力を

新世代コンファレンスで ロータリーとつながる若者たち

若者の参加を促すアイデアを分かちあうことを目的とした新世代コンファレンスが、国際ロータリーのロン・バートン会長主催の下、世界の複数の都市で開かれました。地元のローターアクターが企画を手伝い、コンファレンスの一部として社会奉仕活動も行われました。

インドのチェンナイでは、参加者らが何千冊という本の寄贈を募って農村地域に図書館を設置。また、地元の医師たちによる風疹認識向上キャンプや、無料の予防接種を実施しました。さらに、7,084人が集まって手のひらの形をつくり、



写真提供：ROTARACT CLUB OF MILIMANI

「意思決定やコミュニケーションのスキル、チームプレーヤーとなる方法、重大な状況での対処方法を学びました。そして何よりも重要なことは、ロータリーがもつ力を学んだことです」

— マドラス・セントラル・ローターアクトクラブ（インド）会員
ラムクマー・ラジュ

「世界最大のハイタッチ」でギネス世界記録を樹立しました。

カンパラ（ウガンダ）では、若者や地元リーダーらが、手洗いキャンペーン、蚊帳の配布、献血活動を行いました。ロザリオ（アルゼンチン）でのイベントには、29カ国から1,600人の人びとが集まりました。シドニーでのロータリー国際大会と同時に開かれた最後のコンファレンスでは、盛大な祝賀が行われました。

（左の写真）カンパラ（ウガンダ）で開かれた新世代コンファレンスの参加者。

ローターアクターがブルンジの人びとに きれいな水をもたらす

ケニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルネイのローターアクター100人余りが、ブルンジのブテレレという町の住民に浄水と手洗いの方法を教え、水バケツ、せっけん、衛生教育用のチラシを配りました。このプロジェクトは、インヤンヤリとブジュンブラの2つのローターアクトクラブ、ユニセフ、赤十字、Alchem International、メルク製薬、キスム・ロータリークラブ（ケニア）、ブルンジの複数のロータリークラブにより実施されたものです。

この取り組みは、上記4カ国とタンザニアのローターアクトクラブが合同で実施する「Rotaract East Africa Impact (REACT)」の一環です。REACTは、疾病、食料不足、不衛生な水、衛生設備の欠如など、地域社会が抱える問題を和らげるために活動しています。

（右ページの写真）ブテレレ（ブルンジ）で水バケツを配るローターアクターたち。



ローターアクト

クラブ数：**7,170**クラブ

ローターアクター数：**164,910**人
(18～30歳)



インターアクト

クラブ数：**17,059**クラブ

ローターアクター数：**392,357**人
(12～18歳)



ロータリー青少年交換

交換留学生数：**8,000**人以上

学生の出身国：**71**カ国
(14～19歳)



「このイベントは最高でした。REACTは、いろいろな国や文化から若いリーダーたちを集め、地域社会に貢献するための力を与えてくれます」

— ミリマニ・ローターアクトクラブ (ケニア) 会員
サラ・マインギ

若者を対象としたロータリーのプログラムについては、www.rotary.orgをご覧ください。



ロータリーの活動を支える人びと

「ロータリアンには、不可能な夢というものはありません。
ロータリアンが人びとの生活をより良くするのに必要なリ
ソースは、ポール・ハリス・ソサエティが提供してくれます」

— トゥーイルバレー・ロータリークラブ (米国ユタ州) 会員
メジャードナー
ローズマリー・ハリンガー

写真提供: ROSEMARY HULLINGER

模範を示して導く

恵まれない人びとを助けたいと願うヘルバート・エデラーさんと妻アンドレアさんは、これまで、情熱をもつ人たちが熱心なロータリアンとなることで、多くの「よいこと」が実現されるのを目にしてきました。

ヴァイス・ロータリークラブ（オーストリア）の設立を手伝ったエデラーさん夫妻は、毎年、ロータリー財団補助金プロジェクトに参加（または支援）し、ブラジル、ルワンダ、ルーマニア、バングラデシュといった国の人びとと交流してきました。

ご夫妻はまた、「遺贈友の会」（財団に10,000ドル以上を遺贈する意思を示した方の認証プログラム）の会員となっています。地区で初めて同会の会員となったご夫妻は、ほかの人びとにも、財団を支援するさまざまな方法に関心をもってもらいたいと考えています。

（右の写真）ヘルバート・エデラーさんと妻のアンドレアさん。

揺るぎない支援：ポール・ハリス・ソサエティ

「ポール・ハリス・ソサエティ」は、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金に、毎年1,000ドル以上を寄付してくださる方を称える、ロータリー財団の正式な認証プログラムです。世界に9,000人以上いるソサエティのメンバー。その一員となっているのが、ローズマリー・ハリンガーさんと夫のデニスさんです。お二人ともトゥーイルバレー・ロータリークラブ



写真提供：HERBERT AND ANDREA EDERER

「ロータリー財団は、“世界でよいこと”を実現するために全ロータリアンが共有する大切な宝ものです。妻と私は、自分たちに与えられた幸運をほかの人と分かちあいたいと願っています。すべてのロータリアンが、毎年ロータリー財団を支援すべきだと思います。私たちもそれを実践しています」

— ヴァイス・ロータリークラブ（オーストリア）会員
メジャードナー
ヘルバート・エデラー

（米国ユタ州）に所属し、ペルーとグアテマラでのロータリープロジェクトに参加した経験があります。ソサエティに入会したのは「財団補助金が生み出す大きな影響を信じているから」と、ハリンガーさんは話します。

（左ページの写真）ネパールの学校を訪れたローズマリー・ハリンガーさん。

「世界でよいこと」をするロータリーの活動を支援する方法については、www.rotary.orgをご覧ください。

2013-14年度にアーチ・クランフ・ソサエティ（AKS）に入会した方々（敬称略）

財団サークル

（寄付額1,000,000ドル以上）

Richard Barton and Jane Hopson
Elizabeth and Herbert Hezlep III
Sir Emeka Offor

管理委員長サークル

（寄付額500,000～999,999ドル）

Duk-Sam Lee and Hyun Suk Jang
Greg E. and Pam K. Podd
坂本光彦・律子

管理委員会サークル

（寄付額250,000～499,999ドル）

Atiku Abubakar
Thomas A. and Marian Bickerstaff
Judy and Jeff Chang
Pulo Wen-Yen Chang
Amy Su-Mei Chang Chen and Chiu-Ching Chang

Fashion Shih-Yuan and Eunice C. Chou

Jack and Jenny Chu

Adebisi Clementi and Winnie Adegoke

Charles E. and Barbara R. Clemmons

Bob C. and Sylvia Danner

Charles G. and Nancy K. Frazier

舟木いさ子

Kenneth Gbagi

Kenneth W. and Ruth E. Grabeau

伊藤延雄・綾子

Ann Henderson Johnson† and Lamar Johnson

金杉 誠・美鈴

John W. and Brenda B. Kessler

Kwang Sup Kil and Eun Sook Choi

Baek-Ho Kim and Keum Soon Oh

Yong Chae Kim and Sae Bon Chae

Jong-Duk Lee and Soo Jeng An

Jimmy Thaw Chay Lim and Brenda Lai Cheng Loh

Mould Yu-Sen Lin and Su-Chu Chen Lin

Judy Yun-Yu Liu and Kuang-Chin Li

Nicolas and Annie Lynn

Emmanuel and Goody Mark

Christopher J. McLucas and Reyna L. Castillo

Arthur C. Mills III and Jane M. Mills

Ronald L. and Andrea C. Morton

Kathleen Stillwell Myers†

Michael Olayiwola and Adebola Olawale-Cole

Mike and Misi Omotosho

大室 雫・和代

George W. and Kerstin E. Trowbridge

William Chiu-Lien Tseng and Feng-Chu Kao

George C. and Wilma C. Wheeler

Alice Virginia White

Samuel R. and Grace G. Whitfield†

Fred Sheng-Tsai Wu and Yu-Fung Wu-Lee

Young Suk Yoon and Seung Ja Cho

†故人

財務報告

ロータリーの連結財務報告には、国際ロータリー、ロータリー財団、その支部の活動が含まれます。

リーダーのネットワークに参加し、アイデアを広げ、行動することによって、他者に奉仕し、高潔性を推進し、世界理解、親善、平和を推進することを使命とする国際ロータリーは、主に、会員からの会費によって運営されています。

ロータリーの慈善機関であるロータリー財団は、財団の使命を支える会員とロータリー支援者からの任意のご寄付のみを財源としています。

ハイライト

2013-14会計年度は財務状況が非常に良好な一年となり、ロータリーが世界でよいことをするために、強固な財務基盤を築くことができました。年次基金への寄付は1億1,660万ドルに達し、史上最高を記録したほか、恒久基金への寄付は2,370万ドルとなりました。

2014年、ロータリアンとロータリー支援者から圧倒的な支援が寄せられ、ポリオ撲滅のための寄付は合計7,000万ドルとなりました。これは、ロータリーから世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) への資金に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするという対象上限額 (年間3,500万ドル) をはるかに上回るものとなりました。

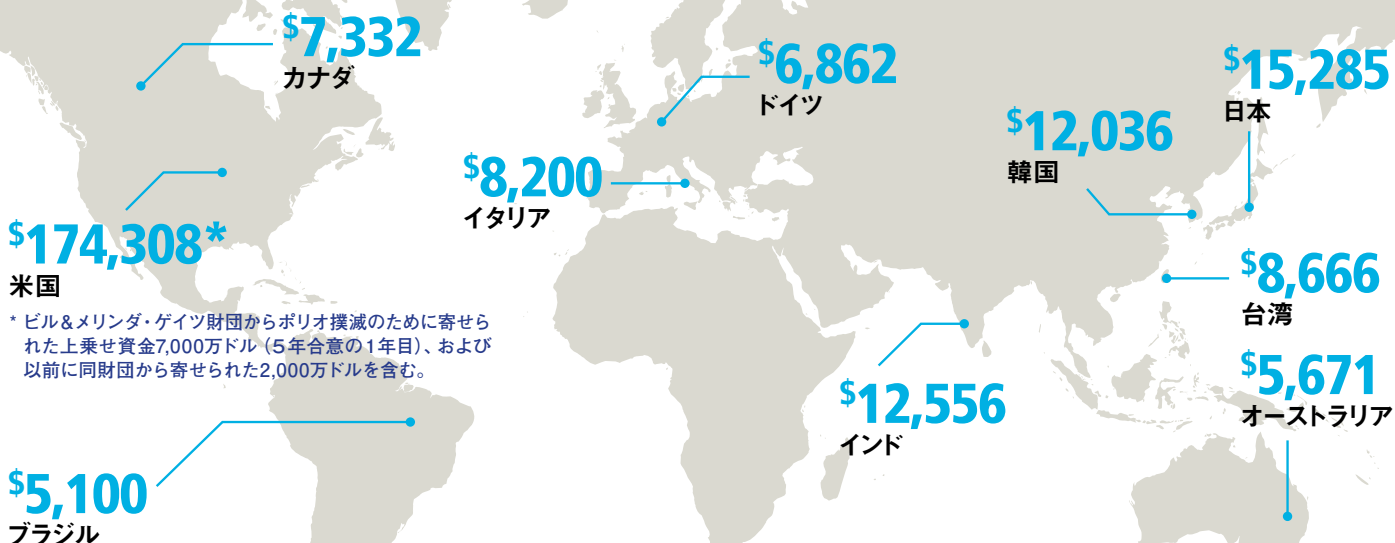
また、2013-14年度はロータリーの重点分野を重視した新しい補助金モデルの導入1年目でもありました。この新しい地区補助金とグローバル補助金の授与額は合計で7,080万ドルとなっています。

地域別のプログラム支出

ロータリーは全世界で実施される幅広い活動に、資金や補助金を提供しています (25ページ上部の「連結決算報告」を参照)。26ページの図は、これらの活動への支出合計額を地域別に示しています。この合計には、新旧両方の補助金モデルによる補助金が含まれています。

寄付上位10の国と地域

2013-14年度の合計寄付額 (1,000米ドル単位)



連結財務状況

(2014年6月30日現在 1,000米ドル単位)

資産	2013-14	2012-13
資産		
現金および現金等価物	\$ 90,208	\$ 50,512
受取勘定(正味)	21,435	44,301
投資	1,019,801	919,581
固定資産(正味)	38,030	39,741
その他	41,502	37,942
資産合計	\$ 1,210,976	\$ 1,092,077
負債および純資産		
負債		
未払いのプログラム補助金	\$ 64,241	\$ 65,831
未払勘定、見越し経費、その他	50,559	52,740
繰越歳入	3,014	1,843
年金債務	399	10,672
負債合計	\$ 118,213	\$ 131,086
純資産		
非拘束純資産	\$ 747,940	\$ 654,563
一時拘束純資産	83,461	71,715
永久拘束純資産	261,362	234,713
純資産合計	\$ 1,092,763	\$ 960,991
負債および純資産合計	\$ 1,210,976	\$ 1,092,077

連結決済報告

(2014年6月30日までの年度 1,000米ドル単位)

収入	2013-14	2012-13
寄付	\$ 254,238	\$ 234,196
会費	63,301	62,503
純投資収益	124,214	67,713
その他	29,603	27,658
収入合計	\$ 471,356	\$ 392,070
支出		
ロータリー財団プログラム支出		
ポリオプラス・プログラム	\$ 131,284	\$ 76,059
ロータリー補助金	91,850	99,296
その他のプログラム	8,406	1,154
ロータリー財団プログラム支出合計	\$ 231,540	\$ 176,509
ロータリー財団増進経費	\$ 15,988	\$ 17,684
ロータリー財団一般管理運営	5,089	4,651
RI運営経費	72,537	71,634
RI業務提供とその他の活動	25,102	25,660
支出合計	\$ 350,256	\$ 296,138
年金関係の調整額	\$ 10,672	\$ 6,298
純資産の増加(減少)	\$ 131,772	\$ 102,230

ロータリーの監査済み財務情報は、www.rotary.org/ja/financialsをご覧ください。

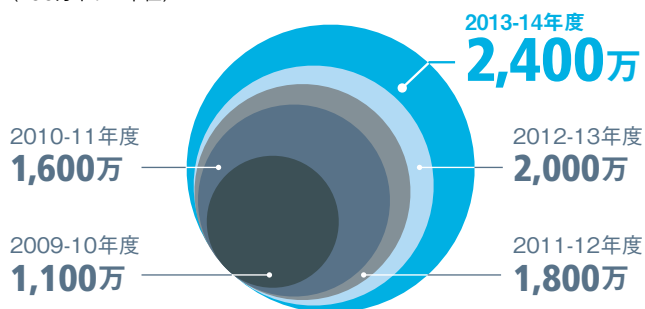
史上最大の年次基金

(100万米ドル単位)



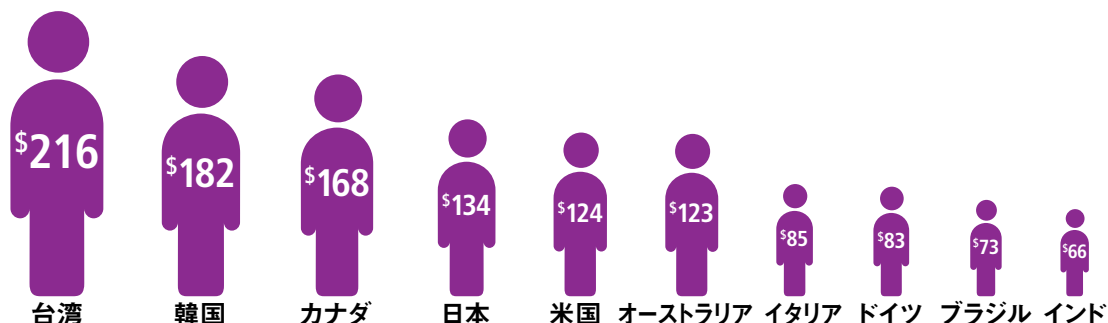
着実に成長する恒久基金

(100万米ドル単位)



年次基金への寄付: ロータリー会員 1人当たり

(2013-14年度すべて米ドル)



人頭分担金の使途

\$19.78

プログラムと会員業務



\$7.30

コミュニケーション



\$9.89

IT、運営、管理事務



2013-14年度
人頭分担金
\$53.00



\$5.31

国際運営



\$4.69

ガバナンスと役員



\$3.63

財務



\$2.40

人事、法務、監査

注：RIの運営経費は主に、会費で賄われ、純投資収益で補われています。会長、理事、管理委員の経費、監査済み財務諸表など、2013-14会計年度の詳しい財務情報は www.rotary.org/ja/financials をご覧ください。

プログラム支出の合計（地域別）

（2013-14年度、1,000米ドル単位）

北米

\$19,484



ヨーロッパ

\$8,530

ロシア、グルジア、
独立国家共同体

\$265



中米とカリブ海地域

\$5,692

中東と北アフリカ

\$8,951

南アジア

\$55,779

東アジアと
太平洋地域

\$24,144

南米

\$5,122

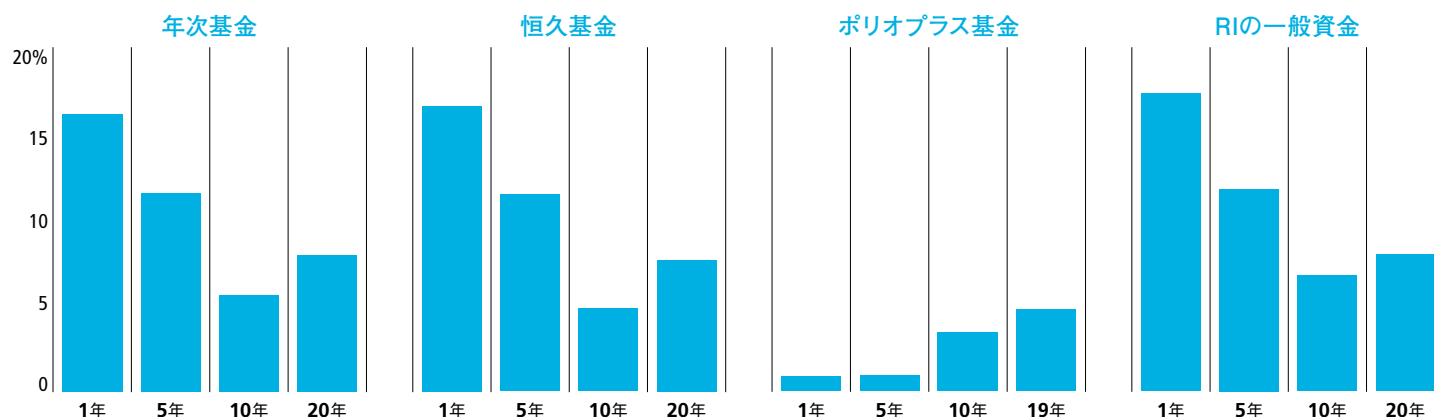


サハラ以南の
アフリカ

\$103,573



投資収益率



投資

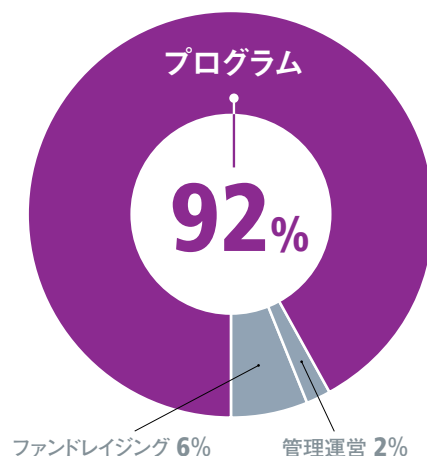
2013-14会計年度における金融市場は概ね良好で、年次基金、恒久基金、RI一般資金の投資収益率はそれぞれ約16～17%と、非常に大きな収益がありました。ロータリー財団の純投資収益は1億820万ドル、国際ロータリーの純投資収益は1,600万ドルでした。ロータリー財団は、これらの収益で運営経費を賄った上、運営準備金を完全なレベルまで充填することができ、将来に金融市場が下落した場合に備えて十分な体制を整えることができました。

国際ロータリーとロータリー財団の両組織は、慎重な投資管理に基づき、米国と米国以外の株、確定利付証券、ヘッジファンドを含む、分散されたポートフォリオを有しています。ロータリー財団は、不動産や未公開株式といった代替資産にも投資しています。ロータリー財団投資委員会（管理委員3名、投資を専門とするロータリアン6名）とRI財務委員会が、ロータリーの投資を監督するほか、両組織の投資に関する助言を行い、投資を観察する、外部の投資コンサルタントも採用しています。ロータリーの資金はすべて、経験あるプロの投資マネジャーが管理しています。投資の方針や業績など、ロータリーの投資に関する詳細は、www.rotary.orgでキーワード「投資」を検索してご覧いただけます。

ロータリーの運営評価

2014年、ロータリー財団は前年度の活動評価に基づき、Charity Navigatorから最高評価の4つ星を受けました。2013-14会計年度の財団支出のうち、管理運営費はわずか2パーセント、ファンドレイジング（寄付推進）費は6パーセントとなっています。当財団は、支出の92パーセントをプログラム費に投じており、これは非営利組織の中でも標準をはるかに上回る割合であるほか、上記の評価機関はその効率の高さを評価しています。

ロータリー財団の支出内訳



Charity Navigatorより ★★★★★



シドニーで開催されたロータリー国際大会の開会前日、ロータリアンがポリオ撲滅のために10万ドル以上を集めただけでなく、「一つの橋の上で掲げた旗」(278枚)と「1度にシドニーのハーバーブリッジに登った人の数」(340人)で2つの世界記録を樹立しました。

国際ロータリー2013-14年度理事会

会長

ロン D. バートン (米国)

会長エレクト

ゲイリー C.K. ホァン (台湾)

副会長

アン L. マシューズ (米国)

会計

アンディ・スモールウッド (米国)

理事

アン・ブリット・アセボル (スウェーデン)

ジョン B. ボーグ (オーストラリア)

ジャック・ディ・コスタンゾ (フランス)

セリア・エレナ・クルス・デ・ジアイ (アルゼンチン)

メアリー・ベス・グラウニー・セリーン (米国)

北 清治 (日本)

ホルガー・クナーク (ドイツ)

ラリー A. ランスフォード (米国)

松宮 剛 (日本)

ギデオン・パイパー (イスラエル)

P.T. プラバカー (インド)

スティーブン A. スナイダー (米国)

ブリン・スタイルズ (カナダ)

マイケル F. ウェブ (英国)

尹商求 (サン・コー・ユン) (韓国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (米国)



国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団2013-14年度管理委員会

委員長

李東建 (韓国)

委員長エレクト

ジョン・ケニー (スコットランド)

副委員長

マイケル K. マクガバン (米国)

管理委員

モンティ J. オーデナート (カナダ)

ノエル A. バジャット (米国)

カルヤン・パネルジー (インド)

スティーブン R. ブラウン (米国)

アントニオ・アラジェ (ブラジル)

ジャクソン S.L. シェ (謝三連) (台湾)

レイ・クリングスミス (米国)

サミュエル F. オウォリ (ウガンダ)

小沢 一彦 (日本)

イアン H.S. ライズリー (オーストラリア)

フリオ・ソルフス (スペイン)

ステファニー A. アーチック (米国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (米国)



表紙の写真

米国ミシガン州、デトロイトで金物屋の修復を手伝うロータリアンたち。地元起業家への小口融資と教育を目的としたデトロイト活性化プロジェクトの一環として。

写真：ALYCE HENSON



国際ロータリー®
ロータリー財団

www.rotary.org

